

# 今月の新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

おすすめ文庫王国 2019 本の雑誌編集部 編/本の雑誌社(019-オス)	他人だったのに。 糸井 重里 著/ほぼ日(914.6-イトイ)
マルクス・ガブリエル欲望の時代を哲学する マルクス ガブリエル 述・丸山 俊一 ほか 著/NHK出版(104-ガブリ)	この地上において私たちを満足させるもの 乙川 優三郎 著/新潮社(F-オトカ)
はじめての刑事訴訟法 尾崎 哲夫 著/自由国民社(327-オザキ)	居た場所 高山 羽根子 著/河出書房新社(F-タカヤ)
「AI資本主義」は人類を救えるか 中谷 巖 著/NHK出版(332-ナカタ)	わが夫啄木 鳥越 碧 著/文藝春秋企画出版部(F-トリゴ)
税理士になるには 西山 恭博 著/ペリかん社(336-ニシヤ)	ばげばげ 那須 正幹 著/ポプラ社(F-ナスマ)
よくわかる女性のアスペルガー症候群 司馬 理英子 著/主婦の友社(493-シバリ)	アナザー・マインド 梶永 正史 著/角川春樹事務所(PF-カジナ)
おうちで作れる台湾小麦粉料理 周 清源 著/世界文化社(596-シユウ)	たとえば、君という裏切り 栗俣 力也 原案・佐藤 青南 著/祥伝社(PF-サトウ)
東京大田区・弁当屋のすごい経営 菅原 勇一郎 著/扶桑社(673-スガハ)	もつれ ジグムント ミウオシェフスキ 著・田口 俊樹 訳/小学館(P989-ミウオ)

## 浪漫紀行 福島

桜の季節には、多くの人々が訪れる信夫山ですが、今回はその信夫山の東側にある「岩谷観音」をご紹介します。岩谷観音は、平安末期から鎌倉にかけてこの地方に住んでいたという豪族、伊賀良目氏が先祖伝来の聖観音像を祀ったのが始まりといわれています。戦乱を避けて、岩窟に安置したので窟(いわや)観音といったそうです。観音像は岩窟近くの鷹尾山観音寺本堂に移されましたが、岩肌には市内唯一の磨崖仏群が残っています。階段状の岩に三十三観音像など約60体の仏像が彫られています。福島藩主・板倉氏に伝わる「板倉家歴代略記」によれば磨崖仏が造られ始めたのは1700年ごろ。以降、明治初頭まで長い年月にわたり、供養仏が彫り続けられたそうです。いったい誰が彫ったのかは、文献は残っていません。

参考文献:『信夫山おもしろ話』信夫山観光活用プロジェクト実行委員会(K291.2-シノブ)  
『信夫の史蹟めぐり』高橋貞夫 著/歴史春秋出版(K291.2-タカハ)

クイズの答え

③永(29回)

①平(12回) ②元(27回) ④天(27回)

図書館カレンダー 3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

4月

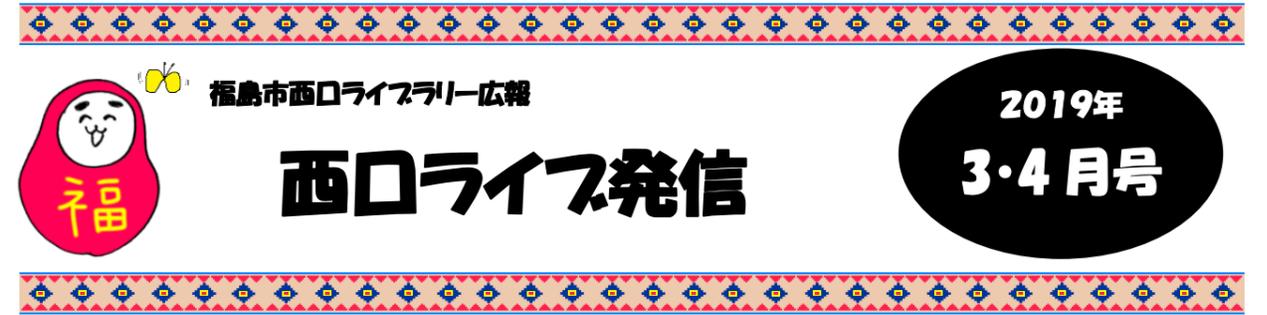
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※4月17日～22日は特別図書整理期間のため、印は休館日  
休館となります。

2019年3月1日発行

編集: 福島市西口ライブラリー  
〒960-8053  
福島市三河南町1-20  
TEL 024-525-4023  
発行: 福島市立図書館  
〒960-8018  
福島市松木町1-1  
TEL 024-531-6551

ホームページ  
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>  
ふくしまウェブ携帯版アドレス  
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/>

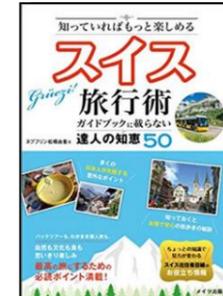


## 今月の新着本案内



『こだわる大人の  
お手入れマニュアル』  
権出版社(593-コダワ)

大切な愛用品はプロに任せるのが一番ですが、どうしても自分でメンテナンスしてみたい。そんな方のために、お手入れ方法を指南します。革靴を鏡のように磨き上げる鏡面磨きや、古着の繕い方等の工程を写真付きで解説します。



『スイス旅行術ガイドブックに  
載らない達人の知恵50』  
ネプフリン松橋由香 著/メイツ出版  
(293-ネプフ)

日本の九州ほどの大きさながら、豊かな文化を育む国、それがスイスです。本書は、スイス在住15年の著者が自身の体験を交えながら、滞在をより一層楽しくするコツを紹介し



『これでいいのだ...さよならなのだ』

赤塚 不二夫・杉田 淳子 著/小学館(726-アカツ)

「天才バカボン」や「おそ松くん」など数多くの名作を生み出した漫画家・赤塚不二夫。彼が生前に綴ったエッセイに対し、彼と親交があった筆者が、当時の想いを綴ります。ユーモアと人間味に溢れた、赤塚不二夫の魅力を知ることができる1冊です。



『桂歌丸大喜利人生』

びあ(779-カツラ)

生涯現役を貫き、噺家として第一線で活躍してきた桂歌丸。病と闘いながらも、高座に上がり続け、2018年に81歳で、その人生に幕を閉じた。

彼は、どのような人物だったのか…。テレビ番組「笑点」のメンバーが、思い出とともに振り返る。



『手帳と日本人』

館神 龍彦 著/NHK出版

(002-タテガ)

世界初の手帳はイギリスで生まれました。それを日本に持ち込んだのは、福沢諭吉です。そんな手帳の歴史から、日本人の時間感覚や仕事観を見つめ直します。多くの手帳を作ってきた、手帳評論家だからこそわかるエピソードが満載です。

## 展示★名作案内



## 書くひとの館

134号室

平成

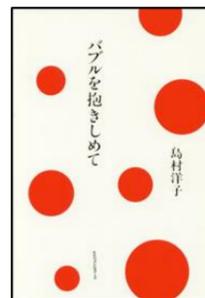
読書で振り返る平成！



## 『平成史』

佐藤 優・片山 杜秀 著  
小学館(210.7-サトウ)

バブル崩壊やオウム事件、小泉劇場…平成の世にも様々なことがありました。数ある出来事を、幅広い分野から年代順に、象徴されるキーワードを挙げて、対談形式で語ります。平成を総括した1冊です。



## 『バブルを抱きしめて』

島村 洋子 著/ベストセラーズ  
(914.6-シマム)

バブル期に買った1万円のパンスト。家族そろって、必死になって見守ったテレビドラマ。オカルトブームに、芸能界の暴走妻。昭和39年生まれの著者が、昭和を懐かしみ、最後まで馴染めなかった平成への違和感を綴る。



## 『桐島、部活やめるってよ』

朝井リョウ 著/集英社(F-アサイ)

バレーボール部のキャプテン、桐島が部活を辞めた。辞めた理由を彼の親友も彼女も知らない。やがてその出来事は、5人のクラスメイトたちの生活に変化をもたらしていく。

平成元年生まれの作家、朝井リョウのデビュー作。



## 『平成のビジネス書』

山田 真哉 著  
中央公論新社(019-ヤマダ)

2000年～2010年頃は、ビジネス書がよく売れ「ビジネス書黄金期」とも言える年代でした。本書では、当時話題になったビジネス書をわかりやすく紹介し、なぜ「ビジネス書黄金期」が終わってしまったのかを考察します。



## 『図解平成オタク30年史』

平成オタク研究会 編/新紀元社  
(361-ズカイ)

平成はアニメやゲーム、アイドルなどに代表されるサブカルチャーが花開いた時代でした。

現在も盛り上がりを見せるサブカルチャーの30年間の変化と歴史を、網羅的に解き明かします。

島本 理生  
(しまもと りお)

1983年、東京生まれ。都立高校在学中の17歳の時に『シルエット』で群像新人文芸賞優秀作を受賞し、デビュー。

2015年、純文学誌を卒業し、エンターテインメント誌にシフトすることを宣言。2018年『ファーストラヴ』で直木賞受賞。

## ～その他の作品～

『クローバー』2007年

『真綿荘の住人たち』2010年

『あなたの愛人の名前は』2018年 ほか

## 匿名者のためのスピカ

祥伝社(F-シマモ)



法科大学院生の修吾の恋人・景織子(きょうこ)は過去に、当時の恋人から監禁されたことがあった。ある日、景織子と連絡がつかず、不審に思った修吾は、彼女の家を訪ねる。そこで目にしたのは、景織子が元恋人の車に乗り、走り去る姿だった。なぜ彼女は監禁された男に自らついていったのか。修吾は、友人の七澤と共に2人を追い、南の島へと向かう…。

## ～隠し部屋～

夫は小説家の佐藤友哉。作家合コンで知り合い結婚したが、1年で離婚。2年後に同じ相手と再婚した。1度目は結婚式を挙げなかったが、2度目に再婚式を挙げた。

## クイズ解かっせ

「大化」から「平成」まで247の元号があります。元号に一番多く使用された文字を、次の中から選んでください。

① 平 ② 元 ③ 永 ④ 天

※答えは最後のページ

